

WHERE IS TECHNO

●もはやテクノはない？

今テクノどうなってるかということから話をすると、もしかするとテクノはないかもしれません。広義に言えばこれもテクノだしこれもテクノ、ということだとたくさんあるんです。でも結論から言えば、厳密にはないかもしれない。それは細分化されたというよりも、違うものになってきてる。

今は、「エレクトロ」(※)という言葉のほうがヨーロッパでは一般化していて、ついこの間までみんながテクノだと思っていたものが、ただのハウス(※)に分類されていたりし

4分打ちのキックで、シーケンスが入ってきてTR-303が入って……と、わかりやすかったんですよ。ハードフロア(※)などをピークにして、テクノらしいテクノっていうのがあったと思います。それがだんだん、例えばエイフェックス・ツイン(※)、グローバル・コミュニケーション(※)、プロディジー(※)という才能のある人達の手によって壊されてしまった。それは僕は決して悪いことではなくて、いいことだと思っているんですけど。

証言

CMJK

テクノの定義

(コンフュージョン)



「携帯電話やミネラルウォーター、ナイキのシューズだって、切り身の魚だってテクノでしょ？」

■80年代末のダンス・カルチャー・ムーブメント、デトロイト・テクノの誕生以来、常に進化を続ける「テクノ」。あるときは既成の音楽を取り込み、あるときは全く新たな演奏スタイルを生み出し、その姿はなかなか捉えることができない。これは、テクノという音楽が、クラブをベースにものすごいスピードで消費される音楽だからだ。そこで、コンフュージョンのCMJK氏を講師に迎えて「テクノは今どうなっているのか?」「テクノとは何なのか?」について講義をお願いした。「携帯電話やミネラルウォーター、ナイキのシューズだって、切り身の魚だってテクノでしょう」と、CMJK先生。え、ええ〜っ?

●あらゆる音楽を取り込み 進化するジャングル

土地や国、文化とか人種の違いによって出てくるグルーヴが違うということに、すごくみんなが自覚的になってきてる。そこから、今では変わったジャングルがたくさん出てきています。

ジャングルというと、日本ではどうしても「時には起こせよ〜」しか頭に浮かばないじゃないですか。でも、ロンドンのジャングルのクラブ行ってみただけけれど、大変なことになってる。ジャズ・ジャングルだったりアンビエント・ジャングルだったり、現代音楽っぽいジャングルだったり、ラテン・ジャングルだったり、レゲエの倍速の今までのジャングルあり。すごいメカニックのジャングルもあれば、ラッパーとベースとドラムだけっていうジャングルもあり、ディストーション・ギターが入ったものやパンクみたいなジャングルと、すごいいろんなジャングルがあるんです。

僕はこの間まで抵抗があったんですけど、これは無視するわけにはいかないかもよというところまで来てますね。自分でやりたいというところまではまだ行ってないんですけど。

この人はジャングルやらねえだろう、という人に限ってやってるんです。例えばリチャード・D・ジェームスやグローバル・コミュニケーション。あともうインテリジェンス・テクノ(※)の最終兵器かなと思っていたワゴン・クライスト(※)までもが、今やジャングルの代表選手みたいな感じですよ。あと、昔からあったコールドカット。今はニンジャチェーンっていうレーベル仕切ってるDJ FOODとかもジャングルやってますし。あと驚いちゃったのが、聞いた話なんですけど、昔あったワイヤーっていうバンドをやっていた、リーダーのコーリン・ニューマンっていうおっさんまでもが今ジャングルやっている。



【テクノなファッション】

ニューヨークのリキッド・スカイとロンドンのダニエル・プールの服は、よく着ている人いる。

ダニエル・プールは、今はドイツのトランス系のテクノが

好きな人とかを着て、わりとわかりやすいテクノっぽいファッション。光るナイロンのパーカーに派手なプリントのTシャツ着て……みたいな感じですよ。

あと、アナーキック・アジャストメント(※)。アナーキック・アジャストメントは東京と大阪にコネクテッドってお店があって、テクノの人も着ていますがゴア(※)の人が多く着ています。「俺の彼女ゴア好きでさ〜」っていうと、ああ彼女こんな格好してるんだなっていうところまでわかる。

例えば、レゲエどっぴりハマってラスタファリアンなった人はラスターカラーを着ると同じように、ファッションと聞いている音楽に結びつきがちなんだよ。

ます。今まであったリズムとしての定義やカテゴライズする上での言葉っていうよりも、むしろマインド的な部分や姿勢の部分で「オレはテクノ好きだ」っていうのでやっている。でも、できてくるものはエレクトロと言われてたり、ハウスと言われてたり、ジャングル(※)だったりトリップホップ(※)だったりするという状況です。

DJ KRUSH(※)さんなんかもテクノやるつもりまったくないと思うんですけど、ヨーロッパでテクノ・ファンも聞いていたりする。そうすると、乱暴に言えばテクノの一種と言えなくもないんですよ。

トランス(※)が大全盛のころ(93年)は、